

関ブロ国公・人事院関東事務局交渉

2018年11月21日、関東ブロック国公は2019年度昇格改善等について人事院関東事務局交渉を実施しました。人事院関東事務局は山際事務局長ほか総務課長・第一課長の3名が対応し、関ブロ国公からは菅議長ほか9名が参加しました。



2019年度昇格改善等要求書の手交



★山際局長の総括的答

- ①級別定数については、ポストの職責評価で複雑・困難性や人事構成を考慮して、「世代間の公平」を考慮して意見の申出をしている。
- ②人員構成が均一でないが、「世代間の公平」をできるだけ配慮したいが、一定の昇格ペースや年数による昇格などの設定とはならない。
- ③超過勤務時間の把握の仕方については、検討していく。
- ④非常勤職員の夏季休暇など、どこまで同じにできるかが課題だ。

★参加者の要望を聞いて・・・局長回答

- ①昇格ペースの要望については、本院に伝えていく。
- ②部下数問題は、不補充で部下が少なくなっているため、委託カウントや付加業務などで緩和してきている。
- ③非常勤の課題については、非常勤という位置づけの中で、できるものを検討していく。
- ④障害者雇用では、採用についてできるだけの措置をした。

関ブロ国公春闘討論集会

日時 12月22日(土)13時～17時

場所 港区生涯学習センター(新橋駅・徒歩1分)

☆菅議長あいさつ

- ①昇格ペースが遅れている。年齢構成には山や谷があり、山の部分で定数が足りなくなり、昇格が遅れる。有効の手段を内閣人事局に意見を申し出てもらいたい。
- ②長時間労働の是正では、目安から規則になるが、事前事後確認の徹底が必要で、客観的把握が必要だ。
- ③非常勤職員の処遇では、正規並の休暇制度への改善が必要だ。

☆参加者から

(全労働・並川さん)

- ①標準職務表で安定所や監督署の格付けが低い。出先機関でも職責が重いので検討してもらいたい。
- ②非常勤の職場の6割が非常勤で恒常的業務なのに3年公募となっており、公募撤廃しその先に無期転換を。
- ③通勤手当の1日付認定で月途中異動者は不利益に。

(関東建設・鶴巻さん)

- ①超勤管理の事前事後確認は個人任せであり、適切な管理が必要。上限時間を超えた場合「事後検証」実施となっているが、検証結果と是正対策を広めるべき。
- ②他律的業務の範囲の見直しはあるのか？建設の出先機関では災害時のみと思っている。
- ③非常勤アンケートから休暇制度の改善が多い。病気休暇で感染症は別枠扱いで。

(関東建設・千葉さん)

- ①昇格の遅れで、40～50歳前半の係長が3級のままとなっている。職場の働き方が20年前から比べ多忙となっており、処遇改善が必要。

(全国税・柳澤さん)

- ①業務が複雑化している。優秀な人材確保にも上席調査官6級の実現を。
- (関東港湾・小笠原さん)
- ①海事職の昇格改善が必要。

(全大教・水谷さん)

- ①雇止め問題は、官が見本見せるべきだ。

(東京国公・伏木野さん)

- ①級別定数改善の働きかけを。
 - ②非常勤の雇用では、障害者雇用の関係から「次はない」と言われた人もいる。別枠採用にしてもらいたい。
- (全司法・関口さん)

- ①行二の部下数撤廃をお願いしたい。運転手も守衛も事件・事故が発生しないように責務が重い。